

# 鹿児島駅周辺まちづくりワークショップの目的

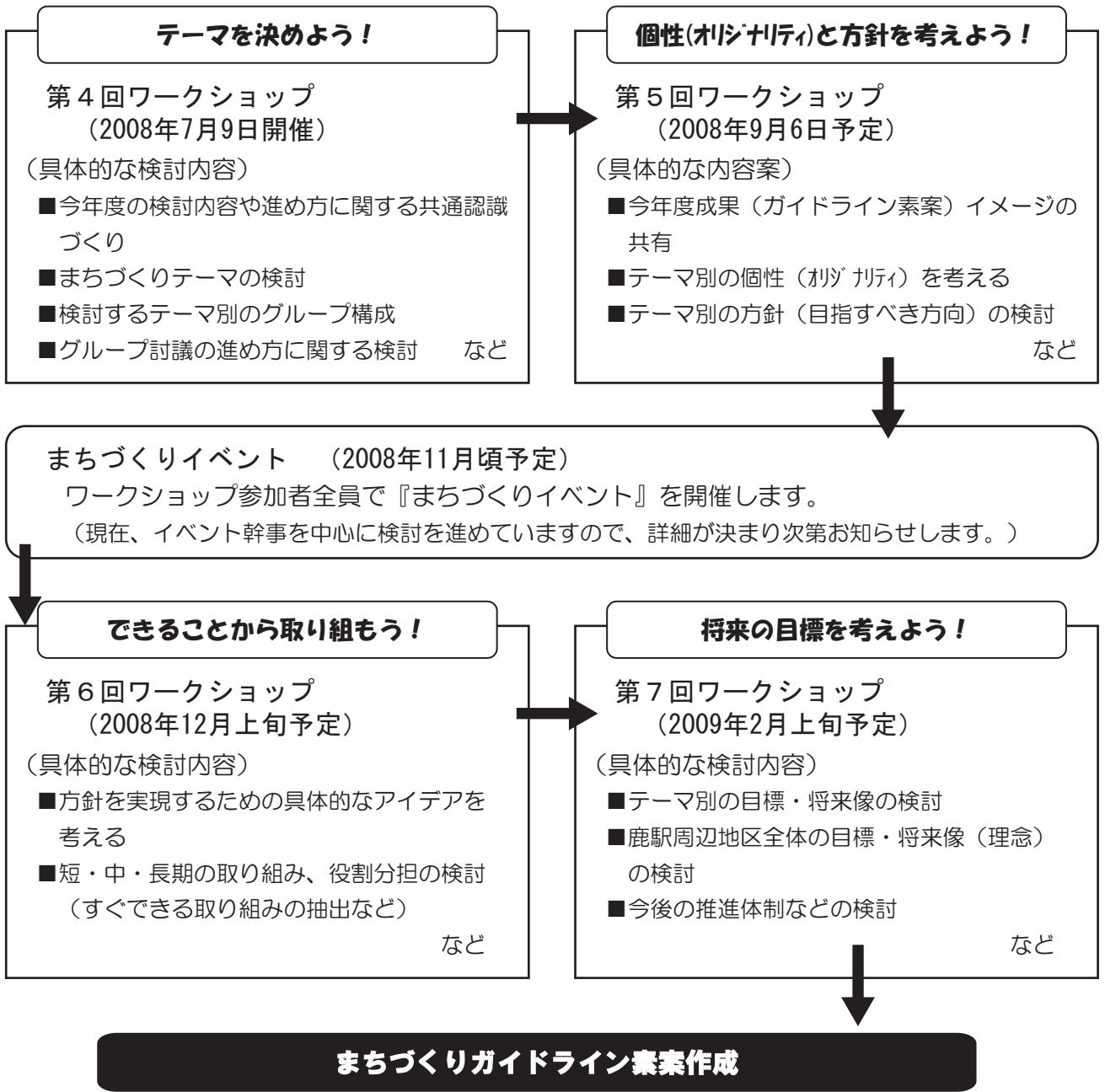
## 鹿駅まちづくり活動ニュース Vol. 4

編集・発行／鹿児島駅周辺まちづくりワークショップ事務局  
(鹿児島市 都市再開発課 TEL 099-216-1388)

### 今年度の検討体制・スケジュール

2年目を迎える鹿児島駅周辺まちづくりワークショップは、平成19年度の公募により集まった地域住民の方々に引き続き参加していただき、市と協働で検討を進めています。

### 主なスケジュール



### お問い合わせ先

鹿児島駅周辺まちづくりワークショップに関するご質問などは下記にお問い合わせ下さい。

鹿児島市 建設局 都市計画部 都市再開発課

Tel : 099-216-1388 / Fax : 099-216-1398 / E-mail : tosisai@city.kagoshima.lg.jp

### 鹿児島駅周辺まちづくりワークショップが開催されました！

第4回



### 当日の次第

1. 開会
2. 事務局説明
3. 質疑応答・全体ワークショップ『テーマを決めよう！』
4. グループ作業（ワークショップ）
5. イベント幹事選出
6. 閉会



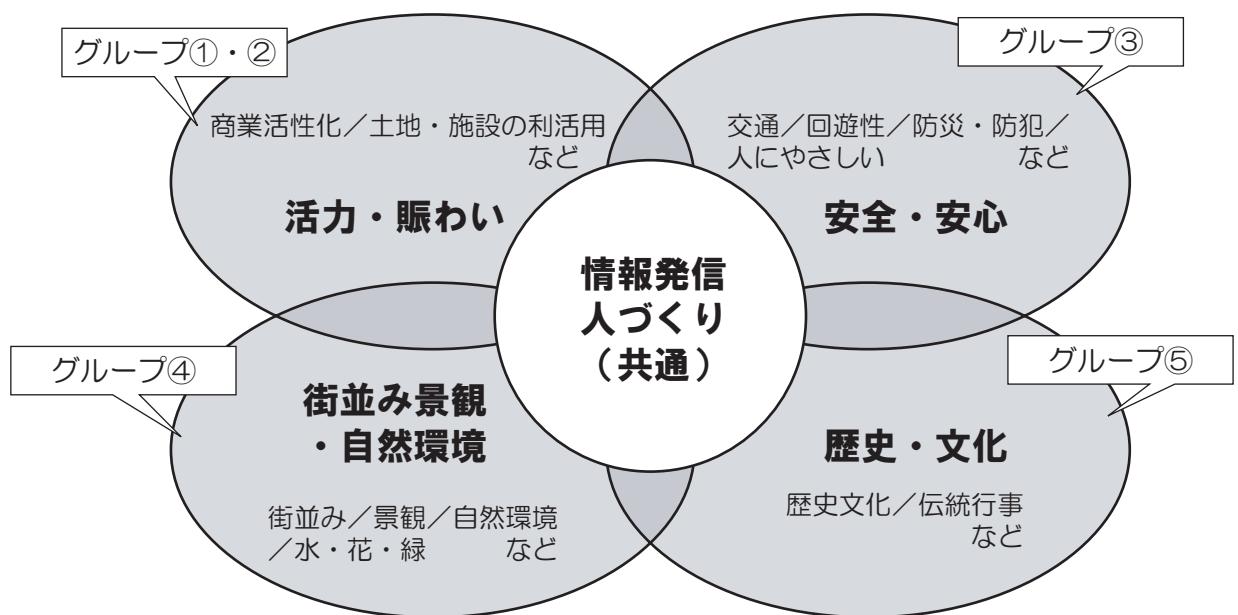
### 鹿児島駅周辺まちづくりワークショップとは

まちづくりの主役である地域住民等が行政と密に連携しつつ地域が主体となった実行力の高いまちづくりに向けて、地域の価値や問題点を共有した上で、まちづくりの指針となる「まちづくりガイドライン」の作成に取り組む場です。

## グループ作業のようす

今年度は、参加者から提案されたテーマを基に、今後の討議が深まるように類似した内容同士でまとめて「テーマ案」として設定し、それに基づき5グループを構成し検討を進めていきます。

### 《テーマ案（今後の検討をしていく上の分類）》



### グループ③：安全・安心

#### 《検討を進めていくうえでのキーワード》

- 環境にやさしい交通（歩行、自転車）／回遊性（上町全体の資源のネットワーク）／交通利便性確保／交流促進（観光客、市民）／案内・情報提供／高齢者の活用 など

#### 《具体的な提案》

##### 回遊性の向上（魅力アップ）

⇒食・グルメや歴史資源を結びつけたウォーキングコースの設定、スタンプラリー、稻荷川の自然環境（多くの虫や鳥）の観察 など

##### 情報提供・案内

⇒食・グルメや歴史資源を結びつけたマップの作成、観光ステーション、わかりやすい案内板設置、外国人観光客にも案内できるお店に目印（のぼり・サイン等）設置、FM放送やケーブルTVステーションなど

##### 便利で環境にやさしい交通

⇒鹿駅まで市電、バス、自動車（空閑地に駐車）で来て歩いてもらう、自転車利用を促進するのに適した地形、レンタサイクル、バスの情報提供、休憩用のベンチ設置、自動車を運転する際の譲り合いのローカルルール など

##### ウォーキングの支援

⇒休憩用のベンチ設置、休憩交流スペース（空き店舗等の活用）など

##### 鹿児島駅を中心とした活動拠点づくり

⇒観光ステーション（高齢者ボランティアの活用）、バスターミナル（分散するバス停の集約） など

##### 交通安全性の向上

⇒駅前交差点の改良、歩道の拡幅、自転車と歩行者の分離 など

### グループ①：活力・賑わい（商業活性化）

#### 《検討を進めていくうえでのキーワード》

- 歴史文化と商業活性化／水と港と商業活性化／宝と宝のブレンド／イベントのコラボレーション／地域コミュニティの再生／JR鹿児島駅／上町市場 など

#### 《具体的な提案》

##### 賑わいづくり

⇒上町市場でおもしろい展開ができるのか／JR鹿児島駅をどう捉えるか（駅の利便性向上など）／住宅地を含めた賑わいづくりが必要／店を出すことのみにとらわれず、人を集め手立てを幅広く考える など

##### 組み合わせ

⇒歴史・文化や水・港と商業活性化を結びつけて考えるべき／宝（資源）と宝（資源）のブレンドが異なる個性を引き出す／地域のイベント同士をコラボレーションすると面白い など

##### 住民参加・連携

⇒「何かやらなきゃ！」という気持ちで、自分達でできることに取り組む／活動を地域の人にきちんと伝え、地域の意見を吸い上げることが重要／個人でできることは限られるが、小さくても力を合わせると大きい力になる など



### グループ②：活力・賑わい（土地・施設の利活用）

#### 《検討を進めていくうえでの主な意見》

- 他グループ（歴史文化など）の方向性との整合が必要
- 地域の実情に即したテーマ設定が必要
- まちづくりにおいて、住んでいる人が自分のまちを好きになることが鍵
- 実際に住む居住者をどのように引き出すかが課題
- 鹿児島駅の大規模遊休地の活用がテーマ
- 市街地に点在する遊休地や空き店舗等の利活用の検討も大切
- 地域の人々が主体的にまちづくりに取り組むことが重要であり、そうした意味において、空き店舗の利活用等は身近なテーマとなる。 など

#### 《グループ作業における今後の進め方》

- 鹿児島駅遊休地の暫定利用に着目するとともに空き店舗や市街地内の中小遊休地、歴史的な建造物等の利活用についても検討する。
- まちづくりガイドラインを地域の人々が主体的にまちづくりを進めていくためのアクションプランとする。
- 他グループとの調整を随時行なっていく。



など

### グループ④：街並み景観・自然環境

#### 《検討を進めていくうえでのキーワード》

- 桜島・錦江湾・多賀山・稻荷川等の自然／桜島の風景／南洲神社からの眺望 等
- 新旧が混在／史跡が多い／通りで特徴を持つ／古いものを活かす／今あるものを活かす／低層の街並み／まとまった街／地の利を活かす／城壁の活用／鹿駅の整備／地域の人とのふれあい／レトロなまちづくり など
- 回遊性の向上／資源をつなぐ／市民が気軽に来ることができる／鹿児島全体から来てもらう／外国人向けの案内／回遊ルート／街歩きの地図／拠点づくり など

#### 《具体的な提案》

##### 自然を活かす

⇒地区全体を鹿駅を中心とした公園と捉えたうえで、来訪者が回遊できるような工夫 など

##### 古いものを活かす

⇒古い建物で珈琲を飲みながら、地域の人と会話ができるようなしきかけ など

##### 資源をつなぐ

⇒背景の掘り起こし、ストーリー性をもたせる、マップの作成、歩いてもらうしきかけ など

##### P.R.する

⇒観光案内所でのマップ配布、観光サインの設置 など



### グループ⑤：歴史・文化

#### 《検討を進めていくうえでのキーワード》

- 歴史と教育／歴史と生活／文学・物語との関係／地域の歴史の伝承／都市としての記憶／歴史文化からの活性化・活力／武家の生活／関係団体の連携／機関とのネットワーク／情報発信 など

#### 《具体的な提案》

##### 魅力を高める

⇒個々の資源にストーリー性を持たせる、歴史資源と食・グルメを結びつける、南洲神社などの施設に人を呼び込む工夫 など

##### 知る・発信する

⇒学生による案内板作成、様々な言語による情報提供、関係団体が連携した総合マップの作成、清水小校区資料集への反映 など

##### 学ぶ・語り継ぐ

⇒マップや案内板、新規居住者が歴史を学ぶ仕組みづくり など

##### 賑わいをもたせる

⇒鹿児島駅を活用した観光案内所やレンタサイクルなどによる案内機能の充実 など

